監督会議資料　2024.11.18

令和6年度　第1回　関東高等学校弓道選抜大会　監督会議(書面会議)

1. 入館・受付について

〔１〕１１月２３日（土）の選手・監督の入館開始時間は９：００～。受付後、歓迎袋のなかにあるＩＤカ－

ドを着用する。１１月２４日（日）の選手・監督の入館開始時間は８：００～。初回受付後は、受付は不要とするが入館の際に警備担当がＩＤカ－ドの着用を確認する。大会競技会場内では行射中以外はＩＤカ－ドを着用すること。

〔２〕大会会場内は土足禁止なので、各自で靴袋などを用意して管理すること。

２．介添え生徒について

〔１〕競技の種別・種類につき１名までの介添えとするが、同一校から複数の種別・種類に参加する場合は，大会参加申込書にあるとおり人数を制限する。

３．介添え生徒について

〔１〕開催地の東京は出場校の顧問が大会役員を務めるので、生徒の監督代行を認める。尚、補欠選手などが監督代行となる場合には制服でなく弓道着でも可とする。

４．競技方法について

〔１〕個人競技決勝の射詰競射は次の方法で実施する。

〈１〉４本目終了時点まで、次のとおりとする。

1. 男子１本目→女子１本目
2. 男子２本目→女子２本目
3. 男子３本目→女子３本目
4. 男子４本目→女子４本目

※４本目までに９人以下になっても、①から④まで連続して競技を行う。

※決勝の招集は、男子・女子をほぼ同時に行い、点呼を進める。

〈２〉４本目終了後、２４センチ星的に替え、男子５本目→優勝決定まで行う。

〈３〉男子優勝者決定後、女子５本目→優勝決定まで行う。

〈４〉女子優勝者決定後、男子の順位決定遠近競射を行う。

〈５〉男子の順位決定後、女子の順位決定遠近競射を行う。

〈６〉上記〈４〉〈５〉で同中が多い場合は、競技時間短縮を図るために、人数絞込みの一本競射は行わず、複数的を使用した遠近競射を実施する（全弓連の競技規則を参考に６名以上が目安）。

〔２〕競技会場における第２控・集合場所を別紙「会場図」のように設ける。

〔３〕弓具審判については弓具点検所を設けず、集合場所での実施とする。2024年発行『必携』の「弓道競技規則」第13条【弓具の規定】、第14条【服装】等の他、【弓道競技申し合わせ事項について】などを守ること。違反している場合には「審判部細案」にもとづいた措置を行う。

〔４〕弓道場内は狭いので、行射の後に退場する際には退場口が混雑しないように揖省略とする。

５．競技における注意事項

〔１〕各種申請については東京都高体連弓道専門部ＨＰに所定用紙を掲載するので記入して使用すること。

　　　事前申請の場合は各参加校からメ－ルで提出とする。宛先は、東京都高体連弓道専門部 副委員長（野付）

　　　宛　[Masataka\_Notsuki@education.metro.tokyo.jp](mailto:Masataka_Notsuki@education.metro.tokyo.jp)　事前申請の〆切は11/20(水)必着とする。尚、坐射免除については事前申請の場合は診断書等のコピーをPDFまたは画像にして添付する。当日申請の場合は診断書等を持参し提出する（コピーでも可）。

〔２〕競技運営上の注意事項および連絡

　①　プログラム等に記載されている時間帯は予定時間のため若干変更する場合もある。進行状況に注意すること。

　②　行射において、矢番え完了後に筈こぼれした矢、または、その他の事由で引直した矢は無効となる。矢

　　　番え完了後とは、弦に筈をかませた後、右手を腰に復した時点以降をいう。

1. 射場に入場後、弓具（弓、矢および弦等）に不都合が生じた場合は交換することができる。ただし射場内に替弓具が準備してある場合で、矢番え完了前までに限る。弓具を交換する際には選手が挙手で進行委員に告げること。
2. 個人競技において、弦音打起しを守らない選手には、進行委員が注意をすることがある。
3. 矢が幕に刺さったり横になったりした場合、団体競技では他の射場に、個人競技では他の的に影響を及ぼさない限り、競技を中断しての矢取りは行わない。
4. 異議の申し立ては、異議が生じたときに監督が挙手し進行委員に申し出ること。的中に関しては、矢取

開始後は受け付けない。(なお矢取開始とは、的前審判員・進行委員双方の手が上がった時点をさす)

1. 進行において「始め」の号令をかける時期は、行射可能と判断した時とする。

６．式典について

〔１〕開会式は実施しない。閉会式は団体競技の表彰式と兼ねる。

〔２〕個人競技の表彰式は順位決定後、準備ができ次第に弓道場内で行う。入賞選手及び監督は集合の指示に従い速やかに集合すること。団体競技についても同様とする。

７．選手控室について

〔１〕選手控室は東京武道館の第１武道場とする。

〔２〕飲食は、第１武道場の外周部分、中央ホ－ル、観覧席のみ許可する。

〔３〕23日に弓具を第１武道場内に置いていくことは許可するが、取違い等による紛失の責任は一切負わない。

８．観覧席について

〔１〕大会の観覧は、観覧席が大変狭く安全管理のため、選手・監督・引率・介添に限り認める。そのため保護者や応援生徒の観覧はできない。また、観覧場所は射場後方側のみ可とし、ウッドデッキ以外の場所は土足とする。東京武道館は住宅に隣接しているため発声による応援は禁止する。皆中の拍手などにとどめること。

９．駐車場について

〔１〕東京武道館の駐車台数に限りがあるので大会主催者が駐車を認めた者以外の駐車は禁止とする。公共交通機関を使用して来場すること。

※東京武道館の最寄駅

東京メトロ千代田線「綾瀬駅」　徒歩約５分

　　　　　（東京メトロ千代田線綾瀬駅東口から、東綾瀬公園の中を通り、５分ほど北上すると左手に東京武道館がある）。

１０．その他

〔１〕大会プログラムは製本したものを配布、販売を行わない。東京都高体連弓道専門部ＨＰに掲載されたものを必要に応じて各自が印刷すること。

〔２〕大会参加料の領収書は歓迎袋に同封する。

〔３〕大会期間中に救護室を設けるが参加者は、健康保険証を持参すること。競技中の疾病などの応急手当は主催者側で行うが、その他の責任は負わない。

〔４〕大会期間中、東京武道館内に出張弓具修理所を設ける。

〔５〕写真業者（株アスリ－ト）が競技の撮影を行う。後日サンプル写真・パンフレット等が選手所属校宛てに郵送される予定。

〔６〕記念品その他の販売は行わない。

〔７〕大会期間、京王観光のツア－デスクが大会会場内に設置される。

〔８〕試合後に個人競技選手のゼッケン、監督・引率・介添えのＩＤとホルダーは回収しないので持ち帰る。

〔９〕「監督会議」通知以降の大会に関する連絡は、東京都高体連弓道専門部のホ－ムペ－ジ（<http://www.kyudo-tokyo.jp/>）、大会専用サイト（https://sites.google.com/view/202411kanto/）に掲載する。

〔10〕結果速報は大会専用サイト（https://sites.google.com/view/202411kanto/）で行う。また更新通知として東京都高体連弓道専門部の「Ｘ」（旧Twitter）（https://x.com/kyudo\_tokyo）を連絡用に活用する予定。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| QR コード  自動的に生成された説明 | QR コード  自動的に生成された説明 | QR コード  自動的に生成された説明 |
| 大会専用サイト | 東京都高体連弓道専門部 | X（旧Twitter） |